

## 多自然川づくり取り組み事例

タイトル：小倉都心部の河川事業について		
水系／河川名：紫川水系／紫川及び神嶽川	河川分類：都市河川	
河川の流域面積：113km <sup>2</sup> 及び8.9km <sup>2</sup>	整備計画流量：890m <sup>3</sup> /s及び65m <sup>3</sup> /s(1/50)	セグメント：2-2
事業：河川改修	事業開始年度	昭和45年度
目標設定：定量的	段階	P(計画時)
課題・目的(主な)：流下能力の確保、貴重種、特定動植物の保全、水辺へのアクセス改善		
工法(主な)：引堤、掘削(河床)、護岸整備、管理用道路の整備		
配慮事項(主な)：河川景観への配慮、委員会、協議会等の開催		

### 背景・課題、目標設定

#### 【紫川】

昭和28年の西日本水害を契機に河川改修を実施していたが、周辺の都市機能の整備が遅れており、街も川から背を向けていた。そこで、平成2年に当時の建設省から「**紫川マイタウン・マイリバー整備事業**」計画の認定を受け、**紫川を軸とした安全で創造的な水景都市の創出**を目標に、治水整備とともにまちづくりを推進してきた。

#### 【神嶽川】

平成21年、22年と、2年連続で神嶽川河口付近に隣接する且過市場で浸水被害が発生した。且過市場は北九州の台所としてにぎわっているが、市場の店舗が神嶽川の上空に張り出しており、河川改修には且過市場の再整備が必要である。そこで、**安全安心に資する河川改修と、且過市場が今後とも魅力ある市場として継続するための再整備を一体的に実施**することを目標に、市場関係者と検討を重ね、段階を踏んだ計画づくりを行っている。

※北九州市の河川事業は、小倉都心部について、**100mm/h安心プラン(小倉都心部浸水対策推進プラン)**の登録による国土交通省の支援を受け、**紫川と神嶽川の治水整備を重点計画化**している。

### 取り組み内容・対策例

#### 【紫川】

- 横断的な組織を創設し、治水整備、親水空間整備、街路整備、都市公園整備、市街地の面的整備を実施した。
- 現在、**100mm/h安心プラン**を活用して、**半断面ずつスライドダウンで河床掘削**を実施している。
- 河畔プロムナードや水環境館等、親水空間整備を実施した。

#### 【神嶽川】

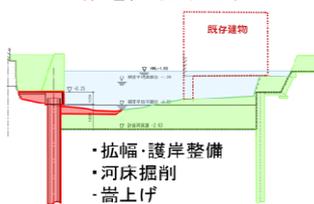
- 治水整備と市場再整備を一体的に実施する「**神嶽川且過地区整備室**」を河川部に創設して事業を進めている。
- 市場再整備の施設計画案を絞り込み、検討課題を洗い出した**且過地区まちづくり基本計画(H28.6)**を策定した。
- 一連の再整備の中で、**100mm/h安心プラン**を活用した治水整備を実施する。



紫川整備イメージ



紫川の親水空間整備: 河畔プロムナード



神嶽川整備イメージ



且過市場再整備イメージ

### モニタリング結果、アピールポイント、今後の対応方針

#### 【紫川】

- 広く市民からアイデアを募集し、反映させた。アイデアの募集は、本事業の周知にもつながった。
- 紫川周辺で開催されるイベントが増え、主導も行政から民間になりつつある。
- 観光客数の増加や居住人口の増加、民間開発等、**着実にストック効果**があらわれている。

#### 【神嶽川】

○市場再整備の検討状況を、市場関係者全員(商店主、土地・建物所有者)に随時発信するとともに、再整備の内容に関するアンケート調査を実施した。

※小倉駅北側(新スタジアム)で生み出したにぎわいを都心全体のにぎわいにするため、**紫川及び神嶽川の整備を活かした都心の集客交流強化**を図っていきたい。

### 備考

問い合わせ先 北九州市 建設局河川部 水環境課

電話番号 093-582-2491